

No.10 候補問題の操作手順と時間想定		
	想定時間合計	23分
試験前の操作	10分	支給材料の確認 器具の配置
試験時間	40分	操作手順
部品とケーブルの取付け	ブレーカー	VVF2.0-2C (300mm) の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする 反対側の外装を100mm、被覆を20mmストリップする 心線10mmの方の白線をブレーカーのN側に、黒線をL側に差し、ネジを締める
	連用枠	連用取付枠にバイロットランプ、スイッチ(イ)、コンセントを取付ける
	コンセント、バイロットランプ、スイッチ	VVF1.6-3C (450mm) を長さ100mmで切り離す(渡り線) 残ったVVF1.6-3C (350mm) の外装を100mm、被覆を約10mmストリップする 黒線を一番下のコンセントの左側、白線を右側(W側)、赤線をバイロットランプの左側の上に差し込む 切り離したVVFケーブル(100mm) の中央で外装をストリップし、3本の電線を取り出す 取り出した黒線の両端の被覆を10mmストリップし、コンセントとスイッチ(イ)のそれぞれ左側に差し込む 白線の両端の被覆を10mmストリップし、コンセントとバイロットランプのそれぞれ右側に差し込む 赤線の両端の被覆を10mmストリップし、スイッチ(イ)の右側(白線側)とバイロットランプの左側(赤線側)の下に差し込む
	引掛けシーリング	VVF1.6-2C(650mm)の外装を引掛けシーリングのストリップゲージに合わせてストリップする 同じくストリップゲージに合わせて被覆をストリップする ストリップ長さと接地側を確認して、ケーブルを差し込む 裏から除いて心線が見えていないことを確認する 引掛けシーリングの中央でケーブルを直角に折り曲げ、その中央を連用枠に合わせ同じ長さ(250mm)でケーブルを切断する
	ランプレ	残ったケーブル(350mm)の外装を45mm、被覆を20mmストリップする 被覆の端から2-3mmの心線をストリッパーの先端で挟み下向きに直角に曲げる 工具を裏返し、片方の心線の端をつまんで手前に曲げ、の字をつくる 同様に、もう1本の方ものの字にする 白線がW側(ソケット側)にくるようにして、の字の部分がランプレセプタクルのネジに重なるように調整する ドライバーでランプレセプタクルのねじをはずす ケーブルをランプレセプタクルの穴から下へ通す 外したネジをの字にはめて、指で押さえながらドライバーで押さえつつ回してネジを半分程度締める 反対側についても同じようにしてネジを締める ネジが被覆を噛み込んでいないことを確認してネジをしめる ランプレセプタクルの中心から引掛けシーリングのケーブルと同じ長さ(250mm)に切断する
結線部分のケーブルの処理		連用枠を取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる 引掛けシーリングを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる ランプレセプタクルを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる
ケーブルの結線	リングスリーブ	白線4本(ブレーカー、引掛けシーリング、ランプレセプタクル、連用枠の白線)をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ中をはさむ 圧着工具の中の位置を確認し、スリーブを圧着後、中マークを確認する ブレーカーの黒線と連用枠からの黒線をそれぞれ立ち上げ、リングスリーブ小にはめる 圧着工具の小の位置を確認し、スリーブを圧着後、小マークを確認する スリーブ(合計2個)の上端からはみ出ている心線をペンチで切断する
	差込コネクタ	残ったケーブル3本(連用枠からの赤線、引掛けシーリングとランプレセプタクルの黒線)を立ち上げ、の字をベンチ幅(12mm)に差し込む 3本の電線を3本用の差込コネクターに挿入する